



広域連携の推進について

議会改革ネットワーク ● 矢野 進次 議員

問 人口減少社会を迎え市税などの増収が見込めず、無駄を省き効率的に市政を運営することが大切である。住民サービスを維持向上するため市町の連携も必要である。現状と課題は。

答 湖南・甲賀2市による「甲賀広域行政事務組合」は消防、し尿・ごみの清掃、徴税などの事務を行っておりませんが、衛生センター施設の老朽化が課題です。

「公立甲賀病院」は、医療連携体制の構築および経営の健全化、必要な医療を市民に継続的に提供できることを目標とした地方独立行政法人化では、2市の負担金について検証する必要がある。また障がい福祉部門で相談支援を広域的に行っています。

問 野洲・湖南・竜王調整協議会について



公立甲賀病院

答 昭和40年に野洲・甲西・竜王の3町が相互の発展を通じて福祉の向上を図ることを目的として設置しました。現在は広域交通ネットワークの要望活動および調査研究を行い、広域事業の推進にかかる情報交換のため研修会を開催しています。交通の環境整備においては、近隣市町が連携することで実現性も高くなります。

問 野洲川改修促進協議会について

答 石部頭首工から川合流部までの国直轄化と、野洲川の整備促進のため、湖南、野洲、栗東、守山の4市で構成する協議会です。

庁舎は市民の多数の意思で決めるもの

日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員



問 庁舎整備計画について、現時点での取り組み状況。予算規模とその財源内訳は。市民の意見聴取は。

答 平成28年度は、基本計画の策定を予定してきたが財源について検討。平成29年1月に市町村役場機能緊急保全事業債が国から示されたことなどから計画策定の延期となった。7月に市内4会場でタウンミーティングを開催します。

開設して2年。事故の原因は

問 学校給食センターの配管の破損による緊急停止について。

答 循環方式ボイラーでパイプに1ミリにも満たないピンホールが発生し、その部分から漏水。蒸気の管路にストレーナが設置されているが、目詰まりにより水圧バランスが崩れたのが原因です。



平成25年台風18号での決壊

リフォーム助成は

答 耐震改修とリフォームは切り離せないことから、耐震改修補助とともに、耐震化の促進につながるように要綱を作成しています。

1級河川の浚渫を急いで

問 危機管理について、2015年の18号台風による被害はすべて改修されたのか。1級河川の浚渫はどうなるのか。

答 野洲川石部頭首工より下流を除く1級河川は滋賀県の管理。平成28年度は家棟川、祖父川の浚渫を実施。今年度も順次、堆積土砂の状況を把握しながら実施することの回答を受けています。